

- 2 就学前までの医療費無料化10月1日より、16年度予算124億円余 など
 - 8 一般質問「未登記路線の解決を」など8人が追求
 - 16 わが町を思う I LOVE TOWN
 - 17 委員会レポート…「合併50周年記念講演・NHK松平アナ」 など
 - 20 議会傍聴記、43年ぶりに全国表彰される など

平成16年度 「新」消防庁舎建設決まる 4億3,030万円

施策の3本柱

環境・防災・少子高齢化対策

3月定例会は、3月3日に招集され、29日までの27日間の会期で開催されました。

町長から新年度に向けての施政方針「住みよいまち、住みたくなるまち幸田、将来の発展と安心の創造をめざして」が示されました。

16年度9会計の当初予算をはじめ15年度補正予算、乳幼児医療の助成に関する条例の一部改正など28件を審議しました。

16年度予算審議は、2日間かけ集中審議し、すべて可決しました。

一般質問では、8議員が町政全般にわたり厳しく問いただしました。



消防庁舎完成予想図

予算の概要

通院も

小学校入学まで無料に

一般会計と8特別会計の16年度予算が決まりました。総額202億6、542万円で前年度比1・7%の増額となりました。

一般会計予算は124億8、030万円で前年度比4・4%の増額となりました。

平成7・8年度に借り入れた減税補てん債の制度的な借換分6億7、210万円が含まれていることによる増額となりました。

歳入

歳入のうち町税は、新規工場進出、主要企業法人税の増額を見込み、前年度比2・2%増の74億7、110万円が計上されました。

町債は、総額11億3、210万円で前年度比49・4%増の大幅な伸びとなりました。これは、新消防庁舎建設、中央公園整備、大型継続事業に充てるほか、減税補てん債の借換分を含むものです。

歳出

町債は、総額11億3、210万円で前年度比49・4%増の大幅な伸びとなりました。これは、新消防庁舎建設、中央公園整備、大型継続事業に充てるほか、減税補てん債の借換分を含むものです。

民生費

- ・国民健康保険、老人保健介護保険の3特別会計に繰出
- ・3億5、638万円
- ・乳幼児医療費拡大10月1日から1、900万円

農林水産費

- ・農村振興総合整備事業2億5、042万円

土木費

- ・(仮)相見駅周辺開発整備事業2億3、024万円
- ・下水道特別会計に繰出5億1、322万円

消防費

- ・新庁舎建設4億3、030万円
- ・消防自動車整備事業6、073万円

教育費

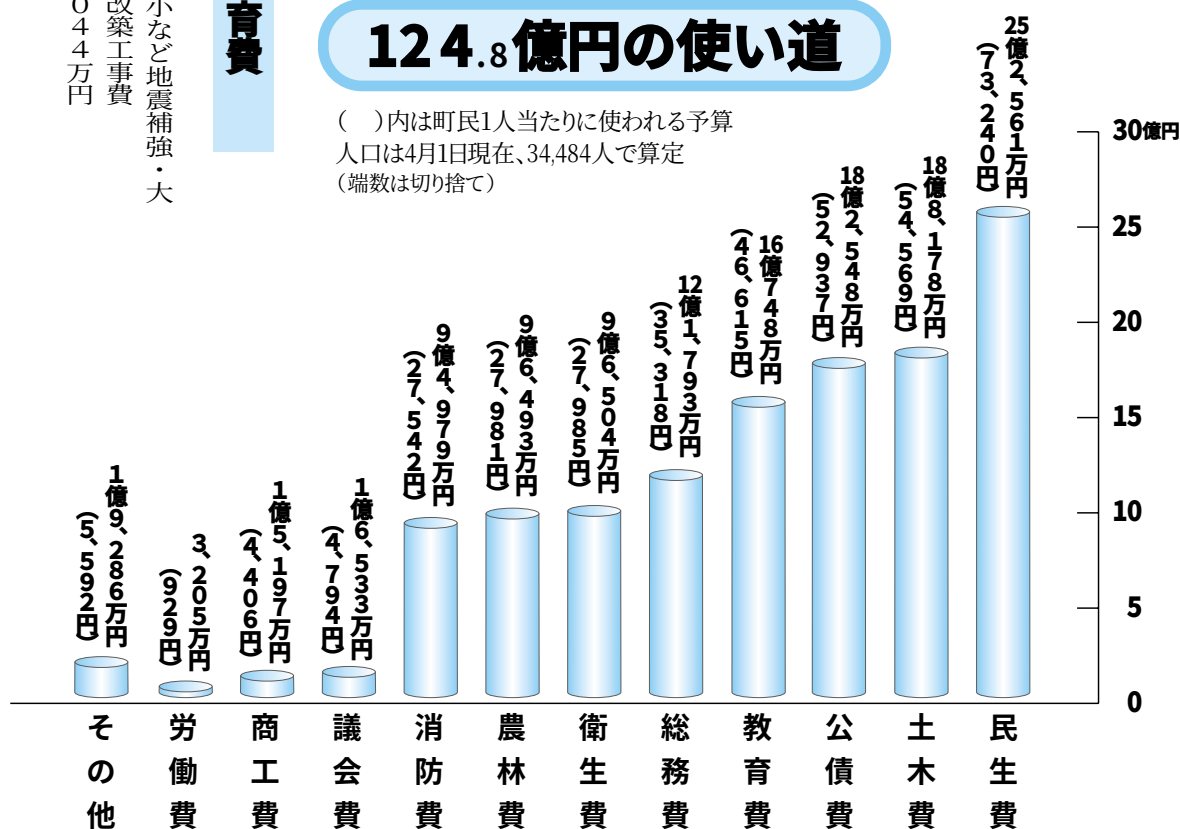
- ・豊坂小など地震補強・大規模改築工事費7、044万円

公債費

18億2、548万円

124.8億円の使い道

()内は町民1人当たりに使われる予算
人口は4月1日現在、34,484人で算定
(端数は切り捨て)



予算特別委員会 集中審議

検証

町民の期待かなうか

—— 新年度予算審議から ——

16年度予算案は、予算特別委員会に付託され、
2日間にわたり慎重審議の結果可決しました。

主な質疑

Q 固定資産税の増額はどのような要因か。

A 桜坂区97戸、相見地区商業施設、六栗の工場進出、桐山サーキット場などの税収によるもの。

Q 諸交付金の地方譲与税はどのようなものか。

A 三位一体改革の柱で、所得譲与税が新設され大幅な増となった。

Q ゴルフ場の利用税が減額となっているが、その理由は。

A 利用者の年齢が16歳以下・70歳以上の場合は非課税になることによる減額である。

Q 国、県は不妊治療助成制度に取り組んでいる。なぜ取り組まないのか。

A 近隣の市町村など調査し、検討していく。

Q 旧菱池保育園の管理について、広い園庭もあり地域利用の考えは。

A 当面町管理とする。給食センター候補地としての。



大日蔭から菱池及び遠望峰山の方角を望む



花に水やりする園児（坂崎保育園）

徹底

Q 公共施行による駅前再開発はできるのか。

A 都市計画決定が本年度であり、地元で共同化に向けた学習会など行ってきた。合意が得れるよう努力していく。

Q 畜ふん処理について、16年11月から家畜廃せつ物の規定により野積み禁止されることにともない、関係者にどのような指導をしているか。

A 屋根付の保管施設が必要。地域に迷惑にならないよう指導していく。

Q 3児童館に空調工事を予定しているが、児童館のない地域もあり不公平だ。施設整備の考えは。

A 児童館の全学区充実は、財政上不可能であり今のところその考えはないが、小学校施設の活用をしてはと思っている。

Q 里山が竹林になっている。町として森林保全を考えるべきだ。

A 抜本的な解決策がない。地権者の理解が必要。

Q 地域農振事業花いっぱい運動が、16年度・22年度までの事業で進められるようだが、どのように取り組むか。管理は。

A しだれ桜保存会のようなボランティア組織を作っていく。子ども会、女性の会などに参加を呼びかけたい。

■16年度各会計の予算額

会 計 名			予算額	前年度比	採択の状況
一 般 会 計			124億8,030万円	4.4%	反対1・賛成19で可決
特 別 会 計	土 地 取 得 会 計		5億8,084万円	11.0%	全員賛成で可決
	国 民 健 康 保 険 会 計		21億3,270万円	2.7%	反対1・賛成19で可決
	老 人 保 健 会 計		18億5,645万円	▲ 1.1%	反対1・賛成19で可決
	介 護 保 険 会 計		9億 994万円	1.2%	反対1・賛成19で可決
	通所介護サービス事業会計		1,108万円	▲ 2.4%	全員賛成で可決
	農 業 集 落 排 水 事 業 会 計		3億6,793万円	▲ 50.6%	反対1・賛成19で可決
	下 水 道 事 業 会 計		9億9,183万円	7.1%	反対1・賛成19で可決
企業会計	水 道 事業会計	収益的事業	6億2,204万円	▲ 5.0%	反対1・賛成19で可決
		資本的事業	3億1,291万円	20.6%	
合 計			202億6,542万円	1.7%	



条例改正

3月定例会で、国民健康保険
税条例を含む10議案を審議し可
決しました。

主なものをお知らせします。

10月1日から
就学前まで
医療費無料化

現行は、3才までの入通
院と小学校入学までの通院
に助成していますが、改正
により小学校入学までの通
院も助成されます。
(全員賛成で可決)



芦谷住民広場

芦谷住民広場 を設置

芦谷区内に地域住民のス
ポーツ振興、健康増進、コ
ミュニティー活動の推進の
ため、多目的機能の住民広
場が設置されました。
六栗農村公園が住民広場
として位置付けられ、管理
区分が明確になりました。
(全員賛成で可決)

改正の概要

年 齢	0～3歳児		4歳児		5歳児		就学前	
入通院別	入院	通院	入院	通院	入院	通院	入院	通院
現 行	○	○	◎	×	◎	×	◎	×
改 正	○	○	○	○	○	○	○	○

○＝現物で実施（医療機関の窓口では無料）

◎＝償還で実施（医療機関の窓口で自己負担分を支払、後日現金給付）

国民健康 保険税条例改正

所得の減収により国保税
の税収が落ち込む状況にあ
り、国保事業の安定のため
負担と給付の適正化を図る
よう条例が一部改正されま
した。

Q 収入の落ち込みの前年
比金額は

A 加入者の所得水準の落
ち込みなどにより、3、
000万円の減となる。
Q 制度改正による医療費
の増加は

A 見込み額1、060万
円である。

(全員賛成で可決)

(1) 医療分

区 分	改正前	改正後
所 得 割 額	100分の4.85	100分の5.25
均 等 割 額	25,800円	27,600円

(2) 介護分

区 分	改正前	改正後
所 得 割 額	100分の0.8	100分の1.15
均 等 割 額	7,200円	9,000円

施行期日／平成16年4月1日

町道路線の 認定及び廃止

道路整備等により、町道
が認定及び廃止されました。
●新規に認定する道路
大草赤石3号線他12路線
●廃止し認定する道路
横落郷前12号線他17路線
●廃止する道路
六栗大木1号線
(全員賛成で可決)

上六栗地区の 集落排水施設 供用開始

上六栗地区農業集落排水
処理施設が、16年4月1日
に供用開始になり、計画さ
れていた13地区がすべて供
用されることになりました。
(全員賛成で可決)



上六栗地区集落排水処理施設の操作盤と施設の全景

平成15年度 補正予算を可決

会計年度も終わりに近づき予算の追加や減額など一般会計ほか8特別会計合わせて9議案が上程されました。

一般会計の歳入は、法人税4、000万円、自動車重量税と税2、000万円の増額。歳出では、職員退職組合負担金300万円、県派遣職員負担金560万円、臨時保育士賃金328万円等の追加と町民会館用地購入費1億1、565万円の減額など各事業の最終見込みを立てた調整、特別会計への繰入れ、繰出しなどが主なものとなりました。

特別会計では介護保険会計において施設介護の関係を減額、居宅介護の関係を追加する補正がされました。

農業集落排水会計は上六栗地区の事業の完了に伴い5、300万円減額されました。

水道事業会計は、収益的支出資本的支出とも減額補正となりました。

各会計とも、予算の調整が主なものであり、いずれも原案どおり可決しました。

審議された他の議案

- 幸田町職員の公益法人等への派遣に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町条例の左横書きに関する特別措置条例の制定について
(全員賛成で可決)
- 幸田町都市計画税条例の全部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町火災予防条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)

陳 情

- 政府に「戦闘状態の続くイラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書」の提出を求める陳情
(反対18・賛成3で不採択)

15年度 3月補正

会 計 名		補 正 額	補正後の額
一 般 会 計		▲3億3,241万円	117億6,684万円
特 別 会 計	土 地 取 得 会 計	8万円	5億2,594万円
	国 民 健 康 保 険 会 計	▲ 2,741万円	20億5,919万円
	老 人 保 健 会 計	▲ 497万円	18億7,995万円
	介 護 保 険 会 計	▲ 5,473万円	8億5,440万円
	通所介護サービス会計	▲ 35万円	1,255万円
	農業集落排水事業会計	▲ 5,305万円	6億9,459万円
	下 水 道 事 業 会 計	▲ 60万円	9億3,836万円
企 業 会 計	水 道 事 業 会 計	収益的事業 ▲ 480万円	6億4,992万円
		資本的事業 ▲ 4,368万円	2億1,568万円
合 計		▲5億2,195万円	195億9,746万円

(端数は切り捨て)

議員提出議案

幸田町議会政務調査費の交付に関する条例

市町村合併研究特別委員会の解散

・幸田町議会の議員の調査研究に必要な経費の一部として政務調査費を交付します。
・政務調査費の額は議員1人年額6万円です。
(反対1・賛成20で可決)

岡崎市、額田郡の1市2町の合併は幸田町としては住民の理解が困難であり、まだ機が熟していないというところで協議会から離脱しました。
以上の理由から本特別委員会は当面の任務を終了したと判断して解散しました。
(全員賛成で可決)

町の考えは？

総合計画と16年度予算編成

町長

やるべき事業は積極的に行う



大須賀好夫 議員

〔質問〕

第4次総合計画は、少子高齢化で計画人口5万人達成に大きな誤差が生じた。第5次総合計画は将来像を想定して実現可能な数値計画でなければと考える。

平成16年度の合併特例法を見送った本町は、地方分権、構造改革も含め一層の行政改革のスピードアップと強力な推進を図らなければならない。

16年度予算編成に当たりどの様に検討され、指示、反映されたか。



菱池保育園の屋上に設置されている太陽電池パネル

保育園、町民会館等を含め公設民営化を進める考えを問う。

町長 〔答弁〕

人口の想定については、夢を託した。周辺の発展動向、開発誘導、民間の開発等を期待すれば、夢の人口ではないと思う。

相見の問題、消防庁舎等やらなければならぬ継続事業には対応していくように積極的な予算を組んだ。不足する部分は起債・基金の取り崩しで対応する。

民営化の取り組みは必要と考えている。公設・民営を念頭に置きながら、1年をかけて具体的に取り組む。

〔質問〕

新エネルギー
導入計画は

「温暖化防止京都会議」により各国の温室ガス削減目標が決められ、国はエネルギー対策として太陽光発電を奨励している。

県内21カ所の市町村が太陽光発電を奨励し補助金制度が設けられ、クリーンエネルギーの利用と活用の普及拡大が進められている。本町も早期に参入すべきと考える。その考えは。

住民に「クリーンエネルギー」や「省エネ」また環境に対する意識の向上を図り、補助金制度の確立と公共施設に設置する考えを問う。

町長 〔答弁〕

環境基本
計画と併せて
取り組む

本町は環境基本計画に沿って環境に優しい各事業に取り組んでいる。

指摘の補助制度は17年度の時限立法であることと、各市町村での取り組み方、申し込み規模、補助金額も一律でないため、慎重な取り組みが必要と考えている。

地球環境に優しいエネルギーについては、幸田町環境基本計画の推進に併せて取り組みたい。

ここが聞きたい

Q & A 町づくり



所有権移転の未登記問題は

町長 可能な限り早期対応をする

鈴木博司 議員

〔質問〕

- 標記の件は、町内に数千筆あり、大きな問題となっている。市場区内でも名義変更を町に要望しているが全く解決されていない。基本的な考え方を問う。
- (1) なぜ長年にわたり明確な回答をせず、早期解決をしないのか。
 - (2) 町内に所有権移転登記が必要な土地は何筆あるか。
 - (3) 現在払い下げ要求をしている方は何名いるか。
 - (4) 名義変更処理を積極的に行っていく考えはあるか。
 - (5) 今後住民の要望に対してどのように対処するか。

町長 〔答弁〕

- (1) 関係者が死亡して事実解明できないことが早期解決を妨げている。
- (2) 未処理は2、800筆余りある。

〔質問〕

地区防災訓練の充実を

- (3) 払い下げ要求は11件、14名の方がいる。
- (4) 名義変更処理を放置することは好ましくない。引き続き努力していく。
- (5) 専門職員が可能な限り早期対応をしていく。

- 東海地震等の震災で一番大事なのは、住民一人ひとりが防災知識を深め、防災意識の高揚を図り、自分の身は自分で守り、次に家族の身を守ることが大切である。そのために、地区防災訓練の充実と組織の活用を重視したく、次のことを問う。
- (1) 消防本部は各区の防災組織表をどのように活用しているのか。
 - (2) 自警団の任務は何か。誰が指導するのか。
 - (3) 区民全員参加の地区防災訓練をより充実させる

職員派遣を積極的に行う

ために、補助金制度の復活を求める。

町長 〔答弁〕

- (1) 防災会、自警団は区長の指導下であり、組織表は災害時の緊急連絡用ま

- (2) 補助金制度の復活は考えていないが、各区防災訓練時に職員を派遣して防災指導は積極的に行う。
- たは防災資機材の購入補助時に活用している。
- 自助・互助・公助の考え方をもち、第一に人命の救助、第二に消火活動第三に食糧の炊き出しを行うことが主な役目である。



平成15年度横落区防災訓練

安城蒲郡線の早期全線開通を

町長 県へ強く要請する



村越茂之 議員

〔質問〕

海谷地区内の安城蒲郡線は、昭和48年の計画決定以来、未だ着工のめどがたっていない状況となっている。

近年、三ヶ根停車場拾石線は、大型車の通行が激増しており、住民の日常生活の中で交通事故への心配が大きな問題となっている。

先般の町政懇談会の席上でも地元の切実な要望として訴えられており、用地買収も山林部分以外は完了とのことであり、県当局に強く働きかけ、早期実現を図っていただきたい町の考え方・見解を問う。

町長〔答弁〕

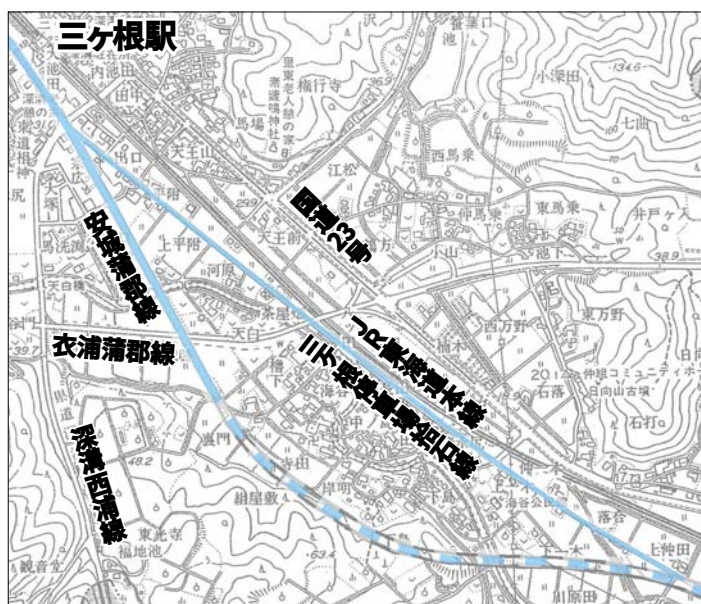
安城蒲郡線は、特に深溝地区のほ場整備を中心とする緑農住区関連ほ場整備事業で関係の皆さんのこれま

でのご協力を大変ありがたく思っている。

先般の学区懇談会で、三ヶ根停車場拾石線の道路事情に大変心配・懸念のあることが訴えられた。

こうした中での安城蒲郡

線の衣浦蒲郡線以南、蒲郡へ向けての整備促進の要望であるが、県予算の現状には大変厳しいものがあるので、今すぐ目鼻のつく状況ではないと思われるが、引き続き粘り強く要請する。



2学期制度の導入の考えは

〔質問〕

学校教育の最近の流れとして、2学期制度の導入があり、真剣に考えるべき問題である。

学期を長くすることにより、ゆとりを生みだし、充実した教育指導をして、自ら問題を解決する力や豊かな人間性が身につくことを期待したい。

2学期制度は、平成16年4月から隣の蒲郡市、西尾市をはじめ、幾多の市町村において導入予定あるいは検討中であるが、本町の導入に対する基本的な考え方と、そのメリット・デメリットを問う。

県全体の動きを見ながら対応

町長〔答弁〕

最近になって、2学期制を導入あるいは導入を検討する市町村の多いことは承知している。

ご指摘とおり、特に3学期は日数が短く、ゆとりのある学習が成り立ちにくいという問題点がある。

反面、2学期制にした場合、すべての問題が解決するとは思わず、新たな問題の発生も懸念される。

現在、時期尚早としているが、関係市町や県全体の動向をみながら、学校・保護者の共通理解のもとで改善・実施を行うこととした。

水野千代子 議員



安全・安心なまちづくりの推進

町長 行政・警察・町民一体で取組む

〔質問〕

現在、県内の犯罪件数は増加の一途をたどっており、幸田町でも空き巣、忍び込み、車上ねらい等暮らしの身近な場所で犯罪は起きている。

今こそ行政、地域、家庭が一体となって『安全・安心なまち』実現に向けての体制づくりが必要であることから、

- (1) 安全・安心のまちづくり条例の制定
 - (2) 地域の防犯体制づくりに対する助成の充実
 - (3) 空き交番の解消
 - (4) 防犯灯の増設
 - (5) 児童・生徒への防犯ブザーの配布
- 以上の5項目について問う。

町長 〔答弁〕

地域の安全、安心して住める町づくりは、急務の課題と考えている。

(1) 安全な町づくり条例の制定は必要である。

- (2) 防犯委員会等の掲示啓発活動は重要であり、充実配備・助成に努めたい。
- (3) 交番の増設を含め、空き交番の解消を強く要請している。

- (4) 区長会と連携をとりながら増設配備に努める。
- (5) ボランティア団体からのご寄附提案もあり、動向をみながら対応する。

ゴミの減量とリサイクルを

〔質問〕

リサイクル法が制定され、大量消費の使い捨ての文明からモノを大切に、再利用して再資源化する物資源循環型社会への方向転換がますます必要となっている。

- (1) リサイクルすることによって「ゴミが資源」に変わって行く施設「リサイクルプラザ」の早期建設について問う。
- (2) 品物を譲りたいとき、品物を譲ってほしいときに不用品情報交換を仲介

町長 〔答弁〕

ゴミ減量化資源化は重要課題

する「情報ネットワーク」の創設について問う。

- し、一部不燃物は、長野県に持ち込み処分するという現状となっている。
- (1) リサイクルプラザの建設には、相当な土地の確保と施設の整備が必要であり、今後の検討課題としたい。
 - (2) 不用品交換の情報ネットワークについては、先に一部試行した経緯もあり、関係者に提案等をいただきながら考えていきたい。



幸田町粗大ごみ集積処理場（桐山）
程度の良いものは補修し再利用へ

幸田町花いっぱい運動を提案

町長 合併50周年事業の中で展開



鈴木三津男 議員

〔質問〕

昨年実施した町長との学区懇談会にて、緑豊かな幸田の町を更にレベルアップして「心豊かで、心の安らぐ町」にすることを切望する住民の声が多くあった。私はゆとりと潤い、心の安らぎを感じる幸田の町をつくるために何が必要かを

考えたとき、「緑の田園風景」に花を咲かせ、癒しの環境をつくることであると思ひ、地域住民参加型で、四季折々、町内各地で花を咲かせる「幸田町花いっぱい運動」を官民一体で、継続的に実施することを提案する。

町長 〔答弁〕

本町が豊坂村と合併して、今年50周年を迎えることから、その記念事業の一つとして、花いっぱい運動を考えていきたい。

事業の取り組みについては、環境基本計画との整合を図りながら、それぞれの地域がテーマを決めて、花木を愛育し、地域主体で管理を続けてもらうようにしたい。

水辺環境の整備を中心として地域用水機能増進事業が示されており、緑化や植樹をこの補助事業となるよう区長会・土地改良区の理事会等に働きかけたい。

合併後の教職員の人事異動は

〔質問〕

教育委員会に対して最近の教育問題を問う。

(1) 岡崎市と額田町合併後の教職員人事異動はどうなるか。

(2) 教職員群の縮小は教職員の資質低下にならないか。

(3) 少人数指導の形態が習熟度別と均等別で実施されているが、どのように指導しているか。

(4) 評議員制度の把握活用をどのように考えるか。

(5) 町内の学校では「不審者侵入時の管理マニュアル」はあるか、その訓練は行ったか。

激変緩和を強く要請する

町長 〔答弁〕

(1) 教職員の処遇については、岡崎市・額田町の合併協議会に幸田町を含めた教員異動には、激変緩和の措置を強く要請する。

(2) 合併問題による固定化・硬直化は、解消できるように配慮する。

(3) 児童・生徒および保護者の理解のもとでクラスが選択され、固定化しないように指導している。

(4) 学校に対する地域の理解と信頼を深め、開かれた学校づくりを目指して活動中である。

(5) 危機管理マニュアルの作成・整備は完了し、訓練の計画・実施を指導している。



大草地区内にて

丸山千代子 議員



次世代育成支援を実効あるものに

町長 健やかに育つ環境をつくる

〔質問〕

次世代育成支援法はすべての市町村に行動計画の策定を義務づけている。計画策定にあたり、住民の意見を反映させる措置や協議会を設置しなければならないが、取り組みは。

子育て支援に役立つ計画を実現するためのニーズ調査の進捗状況はどうか。

住民参加とサービスマスの確保や質の向上のための取り組みをどうするのか。

子育て支援を実効あるものにするための進め方は。

子育て支援事業の一つとしてファミリーサポートセンターの実施について問う。

町長 〔答弁〕

急速に少子化が進行する中で、子どもたちが健やかに育つ環境を整えていくため、市町村の地域行動計画の中に基本的なことを示し、計画を実行する。

計画策定にあたり、就学前あるいは小学生の保護者

それぞれ1,000世帯にアンケート調査を実施し、地域行動計画策定委員会を要綱により協議会を設置することとしている。

ファミリーサポートセンターについては、保護者の要望や保育需要を見きわめながら、行政としてどう対応するかを考えている。

家具転倒防止器具の取り付けを

〔質問〕

阪神大震災の被害の多くは、家屋の倒壊や家具の落下による死亡といわれる。今年の出初め式では、家具転倒防止が自分の命を守る最大の地震対策であることが強調された。

しかし、高齢者・障害者世帯では自分で取り付けることが困難である。

蒲郡・知立・大府市では高齢者、障害者世帯を対象に家具転倒防止器具の取り

付けを実施している。地震対策として取り組む考えはないか。

助成のあり方を検討

町長 〔答弁〕

東海・東南海地震に対する家具の転倒防止対策は、



1年生が加わり、にぎやかに登校（幸田小学校）

大変重要なことである。転倒防止のための金具の設置助成については、近隣市町の事例も調査しているが、高齢者・障害者世帯等の対象範囲や助成のあり方全般の問題に検討すべき点がある。

いずれにしても、金具の配付だけではなく、その取り付けをどのようにするかを含めて、よく考えて対応の道を探ることしたい。

幸田駅のバリアフリー化を急げ

町長 可能な限り早めに取り組む

〔質問〕

高齢化が急速に進行しており、駅のバリアフリー化が切実な課題となっている。せめて応急対策としてエレベーターが設置できないか。

将来は駅の橋上化による完全バリアフリー化が必要である。それには駅前再開発事業と一体化して進めるべきだと考える。

幸田駅の一日平均利用者は8,000人を数える。

『交通バリアフリー法』のいう特定旅客施設としての要件は満たされている。早く重点整備地区としての基本構想をまとめ、関係機関と協議を始めるべきである。

町長 〔答弁〕

バリアフリー法の観点から幸田駅にエレベーターを設置するだけでは問題の解

決にはならない。エスカレーター、エレベーターをつけ駅橋上化を図り、自由通路を設け駅西へのサービスを同時に行える対策が必要である。

10億円前後の町負担は避けられないと思う。

幸田駅前再開発と駅橋上化を一体化しなければ効果が上がらないとは理解していない。また関連はない。橋上化を単独で行うことについてやぶさかでない。早い時期に着工に踏み切っていく必要は認識している。

歴史資料館の建設計画は

〔質問〕

幸田町内には古い歴史を持つ貴重な文化遺産が多数存在している。その保護・保存・公開があまりにも不備で、文化財の散逸・紛失・焼失が心配されている。これらの問題の解決にはそれ相応の専門員、もしくは学芸員の配置が必要不可欠と思うが、お考えは。

文化財保護委員の方々の懸命な努力にもかかわらず、現在の郷土資料館は明らかに見劣っている。第5次総合計画に歴史資料館建設計画を盛り込みたい。

検討課題とする

町長 〔答弁〕

文化財の保全はきわめて重要であり、引き続き努力

をしていく。

防災については民間の警備会社に業務委託している。単独で学芸員の確保をする考えはない。資格を持つ職員の採用は可能と思う。

歴史資料の保全に対する有能な職員の養成については努力をする。

新しい郷土資料館の建設については財政が厳しく検討課題とする。



大正から昭和初期を再現して展示（郷土資料館にて）



伊藤宗次 議員

自己破産承知の財政運営改めよ

町長 継続事業は引き続きやっていく

〔質問〕

町の借金残高190億円。町税74億円の2年半分。借金返済は23億円で町税の30%が消える実態なのに、相見区画整理事業補助金1億円を2億円に倍増。JA憩の農園改築補助金も岡崎市の倍額1、200万円。民間温泉開業を祝い、周辺駐車場整備に血税3百万円。

こんな財政運営改めず「いづれ財政は破たんする」と町長。

幸田町は、お金持ちの貧しい発想の開発優先、町民の暮らし支援せず、民間にいい顔の町政を抜本的に転換すべきだ。

町長〔答弁〕

行財政運営に対する考え方として総合計画は大きな柱である。その柱は躍動と創造の緑住文化都市である。中・長期に及ぶ長期事業・継続事業を軽々に変更する

意思もない。

やるべきことはいかにしてやるか、可能な限り対応しながら方向を探っていく。

相見区画整理・幸田駅前開発・憩の農園等々総合的に考えれば、一部助成事業の負担や一定の助成は妥当である。

終り良ければ
すべてよし

〔質問〕

野場の大日蔭運動場に便所・東屋建設で借地契約したが、「真の代表権者でない撤回を」の申し出を無視。弁護士からの「内容証明」便に荒て、真の代表者と契約し直す過程で、町職員や地元代表者の言動が、住民に身を震えさせた。



大日蔭運動場の便所（右）と東屋（左）

町長〔答弁〕

町民の期待に
こたえていく

町長は「円満解決した」とか「地元熱意のあらわれ」で「終り良ければすべてよし」とあいまいにし、借地料の流れも公開を拒む。運動場の測量などで町費投入の懸念もある。「終り良ければ」の姿勢を改めよ。

地域の要望にこたえて事業に取り組んできた。建物の借地契約で正當な契約の相手方できなかったことについて調査不足であったと深く反省をしている。今後このようなことがないよう職員を督励する。大日蔭において特別な手法を使ったわけでない。事の事態を説明し、説得、交渉したことが威圧とするならば論外である。大日蔭土取り組合に対して換地や測量等財政支援の考えは毛頭ない。

I LOVE TOWN

わが町を思う

町のシンボル



【幸田区】

本田精治さん

私にとって町のシンボルは、35年間通い慣れた幸田駅です。先日町外の友人が、「JRでプラットフォームに待合室があるのを、新幹線以外で初めて見た。」と話していました。確かに、珍しいかもしれません。

昔の幸田駅は、入口と出口が分かれていましたし、駅の正面には小さな池があり、鯉が泳いでいました。

小学校1年の夏休みのラジオ体操は、駅前で行ったように覚えています。



JR幸田駅ホームの待合室

今の車の混雑を考えると、隔世の感があります。駅前の池がロータリーに変わり、郊外の工場立地に伴って乗降客数が増えたのに、駅周辺の街並みに変化がないのが少し残念。まさにドーナツ化現象だと感じています。駅周辺にも、何か変化が出ることを期待したいと思っています。

食は命、幸田の農業の活性化を



【逆川区】

稲吉弘之さん

メキシコFTA交渉で、「自国の食は自国で生産を」と侍姿で訴える。(カンクーンにて)

わが町幸田は、自然に恵まれ、緑豊かでしかも商業、工業も発達し、調和のとれた住みよい町だと思います。

こんな恵まれた郷土に住みながら、日本の食料自給率がカロリーベースで43%であることを考えたとき、日本の「食」に不安を感じるのは私ひとりではないでしょう。

アメリカのBSEやタイなどの鳥インフルエンザの影響で、日本の食肉消費量は大きく減少しました。

幸田の特産、イチゴ、筆柿、おいしいお米、今一度「食は命」食料生産の重要性を考えてみましょう。

若者が農業の魅力に目ざめ後継者となることです。



理想ですが、奥さんの日曜百姓でも気分転換になつてよいではありませんか。

定年退職後の農業もまたしかり、皆で食料自給率の重要性を自覚し、幸田の農業の活性化を図りましょう。



新たに投票所となる菱池保育園

投票所一カ所 増設される

2月20日協議会が開催されました。

■投票所の見直し

第4投票区（岩堀・横落区）の選挙人の数が5、340人と過大となったので、分割して規模の適正化を図るため次のようになります。

■第4投票区（岩堀区）投票所 菱池保育園

■第5投票区（横落区）投票所 中央小学校

幸田町の投票区は全部で9カ所となり、7月の参議院通常選挙から適用されます。

■幸田町村合併50周年記念事業

記念式典は10月10日（日）。記念講演会が10月11日（祝日）に町民会館さくらホールで開催されます。

産業建設

道の駅「幸田」基本 計画案示される

町自治功労者表彰をはじめとして、町内在住の勤者が構成するオーケストラによる演奏会等を行います。

記念講演は、NHKアナウンサー松平定知氏に決まりました。

■幸田町地区防災計画の見直し

県の地震災害対策計画の見直しがあり、町として地震防災強化計画や注意情報、予知情報を反映させるため、検討会を経て防災会議で協議され進められます。

2月17日協議会を開催、建設部から9項目、上下水道部から3項目の説明を受け協議しました。

■主な協議

町内を東西に縦貫して建設中の国道23号下り線側に、道の駅「幸田」の建設が計画されており、その基本計画案が示されました。

須美、桐山境付近に、国土交通省施行として、駐車場（大型34台、小型38台、身障者用2台）のほかに、トイレ（男9、女9、多目的1）と情報提供施設の整備が決まっています。

そのほか幸田町施行で産地直売施設の設置計画についても、39名で研究会が組



平成15年度に視察で訪れた岩手県西根町の道の駅「にしね」

織され、協議が進められています。

■集排事業すべて完了

町内13地区において予定された農業集落排水事業が、平成15年度の上六栗地区の竣工をもって、すべて完了しました。

今後の下水道事業としては、相見地区や野場地区の市街化に編入された区域と市街化区域周辺地区の整備が中心となります。

16年3月末の集落排水の接続率は80%と高く、一方市街化区域内における下水道の接続率は68%となっています。

文教福祉

学校施設の耐震化等 整備計画

2月13日開催の協議会において、小・中学校の16年度からの耐震補強、増築等の整備計画が示され協議をしました。

耐震診断は15年度で終わり、豊坂小学校を始めに順次整備されます。

また、少人数授業の取り組みについて、成果と問題点、今後の方策が報告されました。

の30人を超える学級での指導が大変であるとの報告がありました。

■大草保育園午後7時まで延長保育実施

住民児童課から、16年度の保育園の入所申込み状況が報告され、全園で937人が入所予定とのこと、また、6時以降の延長保育は、深溝、菱池、大草保育園の3園になりました。特に菱池保育園では8時までです。

■合併浄化槽の維持管理費に、補助金交付

保健環境課から、補助金を交付する要綱が説明されました。

・補助する額は、対象経費の2分1で、限度額は2万円です。

・補助対象地域は、集落排水・公共下水道が供用開始されていない地域です。



耐震の補強工事が計画されている豊坂小学校

総合開発

滋賀県草津市の 区画整理事業を視察

1月19日に滋賀県草津市へ新駅設置と駅周辺区画整理事業の視察研修会を行いました。

■概要

・事業の名称 大津湖南都市計画事業野路西部土地区画整理事業

・施行者の名称 草津市野路西部土地区画整理組合

・施行面積 304、802・82㎡

・事業費 112億円

・施行期間 平成11年度～平成19年度

本地区は、JR東海道本線、南草津駅西側に位置し、土地区画整理事業により整備が進められていました。

交通条件に恵まれていることから、副都心にふさわしい土地利用を実現するため、都市基盤施設を先行的に整備し、居住環境の改善健全かつ計画的な市街地の形成と地域の発展に努力されているところが伺えました。

平成6年立命館大学びわこ・くさつキャンパスの開学にともない、JR南草津駅が開業され、現在乗降客が1日に31、000人あり、今後も増加が見込めると担当者から説明を受けました。

整備ずみの南草津駅東側



整備ずみの南草津駅東側

総合計画

市民参加型の 町づくり総合計画

1月16日、尾張旭市と知立市の総合計画について視察を行いました。

■尾張旭市（第4次総合計画、平成16年度～25年度）

- (1) 策定体制について
策定審議会（20名）を3部会に分け各部会で審議しその後全体会議で取りまとめ。
- (2) 町づくりアンケートで市民の意向調査
基本フレームについて将来人口を第3次総合計画（平成15年）85,000人であったが、第4次総合計画では（平成20年）84,000人。（平成25年）では88,000人
- (3) 行政評価を導入
校区ごとに開催し市民の意向を集約。

向を集約。

町づくりアンケートで市民の意向調査

基本フレームについて将来人口を第3次総合計画（平成15年）85,000人であったが、第4次総合計画では（平成20年）84,000人。（平成25年）では88,000人

行政評価を導入

- (1) 策定体制について
策定委員会、策定部会、専門部会で審議、公募による市民町づくり会議を10回開催。
- (2) 行政評価を導入
各種計画立案にあたって、行政評価システムを導入。

■知立市（第5次総合計画、平成15年度～26年度）

策定体制について

策定委員会、策定部会、専門部会で審議、公募による市民町づくり会議を10回開催。

町づくり調査や町づくりを語る会を7校区で開催

行政評価を導入

各種計画立案にあたって、行政評価システムを導入。



知立市にて

議員研修会

議会では、研修を通じて議員としての識見をさらに広め、資質の向上と相互の交流を深めるため、いくつかの広域的な連絡協議会を組織しています。

■1月15日 第7回三河中央市町議会議員研修会「西尾市文化会館」

名古屋工業大学大学院工学研究科教授 谷口仁士氏「東海・東南海地震に対する三河中部地域の防災システムの構築」の講演を聞きまし。参加173名。

■1月28日 蒲郡市議会・幸田町議会交流事業「蒲郡海洋開発(株)本社」ラグーナ蒲郡の事業説明・施設見学をしたのち情

報交換会を行いました。参加47名。

■2月2日 額田郡町村会・議長会合同研修会「ぬかた会館」陸上自衛隊豊川駐屯地第10特科連隊第3大隊長 小坂浩之氏から「自衛隊と地震防災について」の講演を聞きまし。参加50名。



ラグーナ蒲郡の事業説明を受け施設見学



「芦谷区」
市川省三さん

議会傍聴記



「市場区」
金子義輝さん

傍聴席で考えたこと

初めて幸田町議会を傍聴して感じたことは、議会のようすは議会だよりで認識していました。直接傍聴する迫力・印象・緊張感は格別ということです。

問題点を鋭く迫及する議員、答弁する町長やスタッフ、その真剣なやり取りに敬服しました。

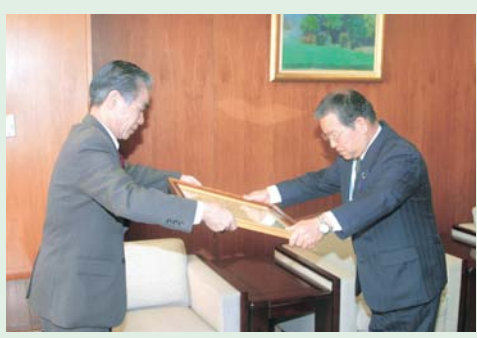
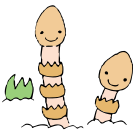
過去から引きずってきている難しい問題や新しい計画などについて、議員と行政が迫力ある質疑応答を重ねることを期待したいと思います。



議会を初めて傍聴して

3月10日の本会議を傍聴する。最近、国会中継をテレビで見る機会が多いが、町議会は今回初めて傍聴した。議会における質疑応答は真剣そのものであった。国も地方も抱える問題は同じのようで、高齢化社会への対応であり、財政の健全化である。

この古き良き精神の復活こそが問題を解決してくれる道と考えたのだが。



全国表彰の伝達を受ける内田議長（右）

43年ぶりに町議会が全国表彰

1961年（昭36）に、議会広報活動が充全国表彰を受けて以来、43年ぶりに、全国町村議会議長会の「優良町村議会」表彰を幸田町議会が受けました。

1961年（昭36）に、議会広報活動が充全国表彰を受けて以来、43年ぶりに、全国町村議会議長会の「優良町村議会」表彰を幸田町議会が受けました。

県町村議会議長会副会長の額田町議会議長が、幸田町議会を訪れ、内田議長に表彰状が渡されました。

編集後記



「巣立ちゆく子を送り、はぐくみ育てる子を迎える」
子らが、庭木に宿った雫の珠のように、朝の陽にキラリと光ってほしい。

昔も今も、陽は昇ってさんと光をふりそそぎ、夕暮れには赤々と海を染めて沈む。

この大自然のいとなみが人との温かい関係をつくる大切さを教えているのではないだろうか。

編集委員

- 委員長 伊藤 宗次
- 副委員長 黒柳 広治
- 委員 山本 勉
- 委員 杉浦 務
- 委員 夏目 一成
- 委員 羽根 潤保
- 委員 鈴木 三津男

あなたも議会を傍聴してみませんか

6月議会の本会議は、下記のとおり行う予定です。

●会期の日程

- 7日（月） 開会、議案の説明
- 10日（木） 一般質問
- 11日（金） 一般質問
- 14日（月） 議案の質疑
- 25日（金） 討論・採決、閉会

●場所 役場5階 議場

●時間 午前9時から

◎詳しくは議会事務局へ

☎0564-63-5151